

FUJIFILM**instax WIDE Evo™****HYBRID INSTANT CAMERA**
[INSTANT PRINT + DIGITAL TECHNOLOGIES]**使用説明書(詳細)**

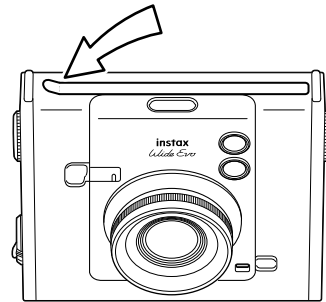
- カメラの機能、仕様はファームウェアのバージョンアップにより、変更される可能性があります。
- ファームウェアをバージョンアップする方法は2通りあります。詳しくは [バージョンアップ] を参照してください。(31ページ)

目次

カメラの準備	4	フィルムカートリッジを取り出す	19
カメラをお使いになる前に	4	撮影データについて	20
カメラを廃棄するときの注意	4	撮影データの保存先	20
小形充電式電池のリサイクルについて	4	micro SDカードを挿入しない場合	20
このカメラについて	4	micro SDカードを挿入した場合	20
このカメラの特長	4	撮影・保存可能枚数	20
スマートフォンアプリと連携すると使える機能	4	応用操作 — 撮影	21
ショルダーストラップを取り付ける	5	いろいろな撮影 — ダイレクトメニュー	21
各部の名称	5	画像の明るさを変えて撮影する	21
液晶モニターの表示	7	セルフタイマーを使用して撮影する	21
セレクトボタンとMENU/OKボタンの使いかた	8	フラッシュを使用して撮影する	22
メモリーカードを使用する	8	光源に合わせて撮影する	22
メモリーカードを入れる	9	マクロ撮影する	23
メモリーカードを取り出す	9	ピントを合わせやすくする	23
充電する	10	エフェクトを使った撮影	24
電源オフ時の充電状態の表示について	10	エフェクトを加えて撮影する	24
フィルムカートリッジを入れる	10	レンズエフェクトを選ぶ	24
電源を入れる/切る	11	レンズエフェクトの度合いを調整する	24
バッテリー残量の確認方法	11	フィルムエフェクトを選ぶ	25
言語と日時を設定する	12	フィルムスタイルを選ぶ	25
基本の操作 — 撮影・再生・出力	13	エフェクトの組み合わせを割り当てる	26
基本的な撮影	13	エフェクトの組み合わせを登録する	26
撮影する	13	お気に入りのエフェクトを呼び出す	26
広角で撮影する	14	レンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムス タイルをリセットする	27
自分自身を撮影する(セルフイー)	14	再生・出力の設定	28
AF/AEロックを使用して撮影する	15	いろいろな再生 — ダイレクトメニュー	28
撮影情報を見る	15	画像を回転する/画像の位置を調整する	28
撮影した画像を再生する	16	画像を拡大して表示する	28
画像を削除する	16	画像の画質を選ぶ	29
1コマ表示のとき	16	出力画像の明るさを選ぶ	29
4コマ/9コマ表示のとき	16	設定メニュー	30
フィルム残量表示について	17	設定メニューの操作と項目	30
撮影情報を見る	17	アプリについて	32
出力する	18	スマートフォンアプリ連携で使える機能	32
		スマートフォンアプリを設定する	32
		カメラを廃棄するときは	33

その他の情報	34
仕様	34
このようなときは	35
安全にご使用いただくために	36
取扱上のお願い.....	36
Bluetooth®機器使用上の注意事項.....	37
アフターサービスについて	38
個人情報の取扱について	39

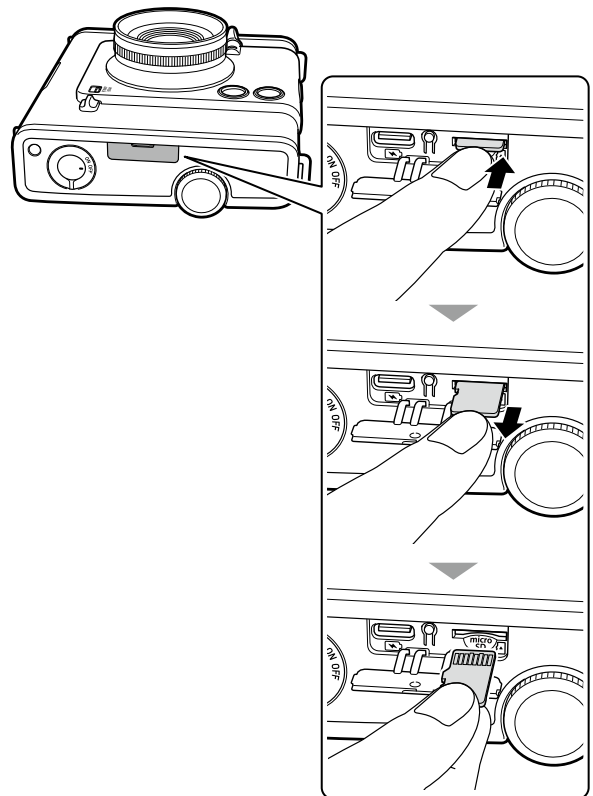
本体の保護シールを剥がしてお使いください。



⚠️ フィルムカートリッジの取り扱いに関する注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

⚠️ メモリーカードの取り出し



メモリーカードを取り出す際は、カードスロットから飛び出さないよう、指で抑えながら取り出してください。

Independent JPEG Groupライセンス
 本ソフトウェアの一部は Independent JPEG Group の著作物に基づくものです。

© 2025 FUJIFILM Corporation. All rights reserved.

カメラの準備

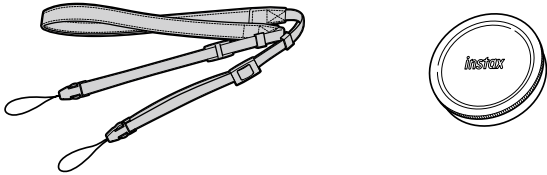
カメラをお使いになる前に

カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

付属品一覧

・USB Type-Cケーブル(1本) ・使用説明書(1冊)
(BO38A34001)

・ショルダーストラップ(1本) ・レンズキャップ(1)



- ・ショルダーストラップは肩に掛けて使用し、首には掛けないでください。
- ・ショルダーストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。
- ・工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。ご使用になる前に必ず充電してください。
- ・付属のUSB Type-Cケーブルは充電専用です。

カメラを廃棄するときの注意

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクルできません。

本機が不要になりましたら、リチウムイオン電池は商品廃棄時に取り出し、一般ゴミなどと一緒には廃棄せず、充電式電池の排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。

小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池(リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など)はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

カメラを安全に使用するために、「安全にご使用いただくために」(36ページ)をお読みください。

このカメラについて

このカメラの特長

- レンズエフェクト10種、フィルムエフェクト10種に加え、レンズエフェクトの度合い調整や6種のフィルムスタイルを搭載した多彩な表現力。(*2025年1月時点)
- instax™史上最広角のレンズ(*2025年1月時点)で広角モードで撮影可能。
- 液晶モニターを見ながら撮影し、本体およびmicro SDカードへ保存可能。
- 撮影した画像を選んでinstax™プリントに出力可能。
- こだわりと本格感を体現したクラシックなデザイン。
- レンズ/フィルムダイヤル、度合い調整ダイヤル、プリントクラックでのアナログ感ある操作性。
- 自分撮りがしやすいセルフイーミラー搭載。

スマートフォンアプリと連携すると使える機能

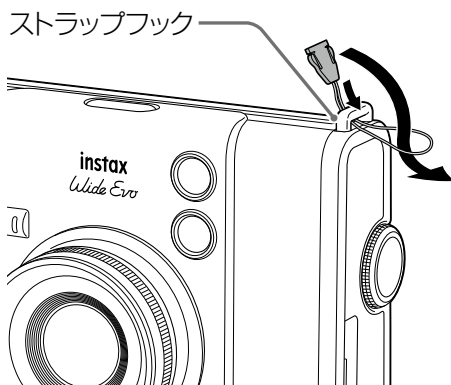
- ダイレクトプリント
スマートフォン内の画像をカメラ本体に送信してinstax™プリントにすることができます。送信前に、スマートフォンアプリで画像の移動や回転、拡大縮小ができます。
- リモート撮影
スマートフォンを操作して、カメラ本体で撮影することができます。
- プリント画像保存
カメラから出力した画像を選んで、スマートフォンアプリに送信可能。スマートフォン内にinstax™フレーム付き画像として保存可能。
- Discover Feed
アプリ内の[Discover Feed]上に、他のユーザーや自分の作品が掲載されます。使用したエフェクトを確認することも可能です。
- お気に入り登録
過去に自分が出力した作品のエフェクトや、他のユーザーが使用したエフェクトを簡単に自分のカメラのお気に入りに登録できます。

カメラの準備

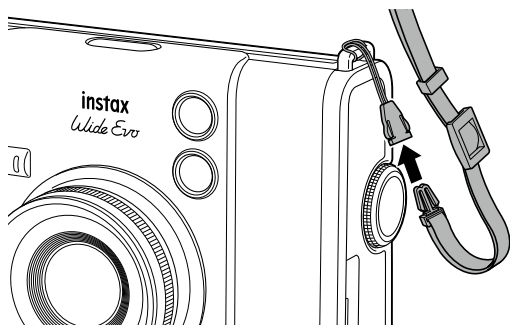
ショルダーストラップを取り付ける

以下の手順でショルダーストラップをカメラ本体に取り付けます。

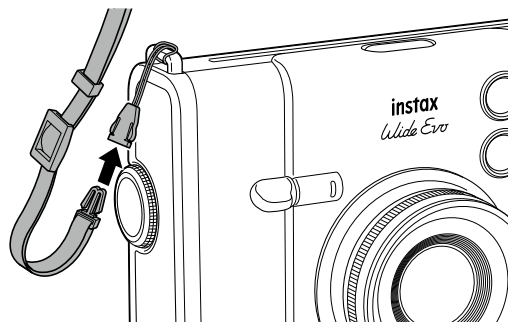
- 1 ショルダーストラップの先端部分をカメラのストラップフックに通す



- 2 ストラップの先端部分にストラップ本体を取り付ける

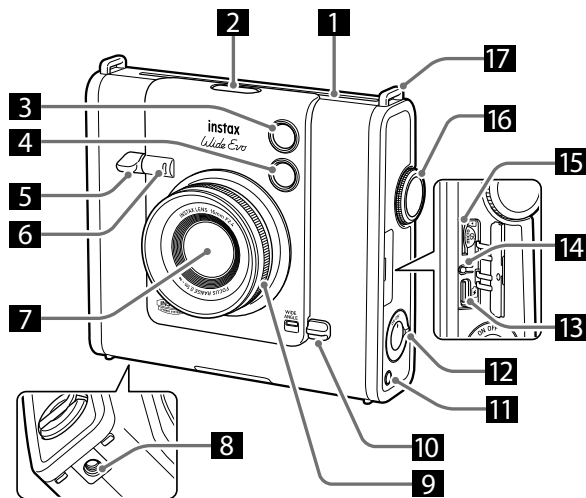


- 3 反対側も同様に取り付け

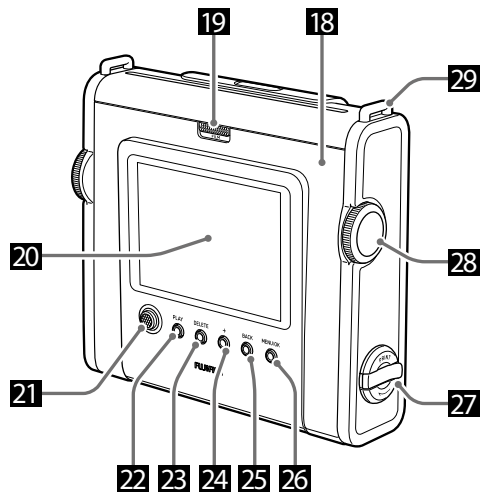


各部の名称

前面



背面



カメラの準備

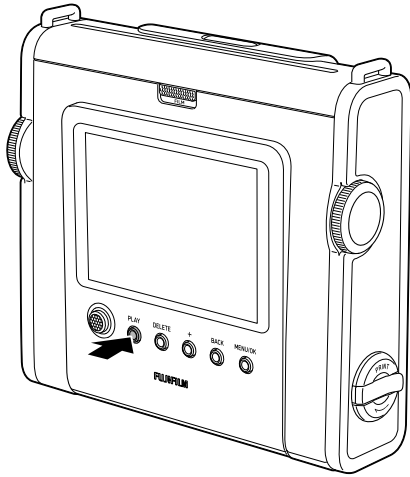
- 1 フィルム排出口
- 2 フィルムスタイルボタン
6種類のフィルムスタイルを切り替えます。
- 3 フラッシュ
設定に応じてフラッシュが発光します。フラッシュを発光しない設定もできます。
- 4 セルフィーミラー
セルフィーミラーに自分自身を写し、構図を確認して撮影できます。
- 5 シャッターレバー
半押しして、被写体にピントを合わせます。半押ししたままさらに深く押し込むと、カメラのシャッターが切れて写真が撮れます。また、再生モード時にシャッターレバーを押すと、撮影モードに切り替わります。
- 6 セルフタイマーランプ/充電ランプ
セルフタイマーを使用して撮影するとき点滅します。また、充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 7 レンズ
- 8 三脚穴
三脚に固定するためのネジ穴です。
- 9 度合い調整ダイヤル
レンズエフェクトの度合いを調整できます。
- 10 広角スイッチ
スイッチを上スライドすると広角モードで撮影できます。
- 11 エフェクトリセットボタン
レンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムスタイルの設定をリセットします。
- 12 電源スイッチ
電源を入/切します。
- 13 USB Type-C ケーブル接続部
充電を行うためのUSB端子です。USB端子を使用したデータ転送はできません。
- 14 リセットボタン
カメラが正常に動作しない場合に押し、強制的に電源が切れます。リセットボタンを押したときは、電源スイッチをOFFにしてから再度ONにして、カメラを起動してください。カメラが正常に動作しているときに使用しないでください。撮影データが失われる場合があります。
- 15 micro SDカードスロット
micro SDカードを挿入します。
- 16 レンズダイヤル
10種類のレンズエフェクトを切り替えます。
- 17 ストラップフック
ストラップを取り付けるフックです。カメラの両側にあります。
- 18 フィルムドア
フィルムカートリッジ出し入れ時はフィルムドアロックをスライドしてロックを外し、フィルムドアを持ち上げます。フィルムを使いきるまではフィルムドアを開けないでください。
- 19 フィルムドアロック
フィルムドアのロックを解除します。
- 20 液晶モニター
撮影時の被写体および撮影した画像を確認できます。また、操作に応じたメニューが表示されます。
- 21 セレクトボタン
液晶モニターに表示されたメニューの項目や機能を選びます。
- 22 PLAYボタン
撮影モード時に押すと、再生モードに切り替わり、撮影した画像が液晶モニターに表示されます。
撮影モードに戻るときは、再度PLAYボタンを押すか、シャッターレバーを全押ししてください。
- 23 DELETEボタン
液晶モニターに表示されている画像を削除します。
- 24 +(ファンクション)ボタン
撮影モード時に使用しているエフェクトを液晶モニターで確認できます。エフェクトの登録や呼び出しもできます。
- 25 BACKボタン
液晶モニターに表示中のメニューからひとつ前の表示画面に戻るときに押します。
- 26 MENU/OKボタン
撮影時や再生時に押すと、液晶モニターにメニューが表示されます。また、メニューの項目を決定するときに押します。
- 27 プリントクランク
時計回りに回すと、液晶モニターに表示されている画像を出力します。
- 28 フィルムダイヤル
10種類のフィルムエフェクトを切り替えます。
- 29 ストラップフック
ストラップを取り付けるフックです。カメラの両側にあります。

カメラの準備

液晶モニターの表示

電源を入れると液晶モニターに撮影画面が表示されます。PLAYボタンを押すと、撮影画面と再生画面を切り替えることができます。

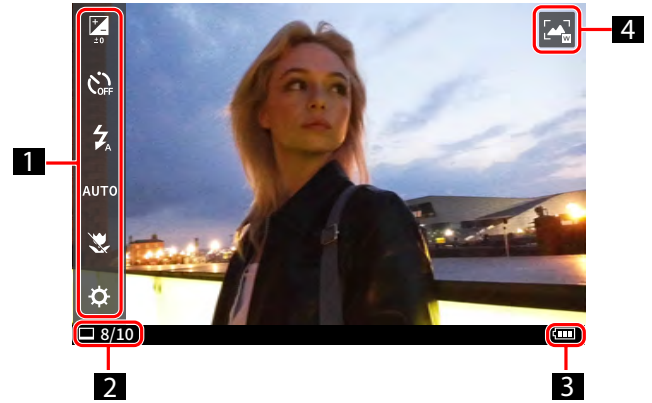
MENU/OKボタンを押すと、**ダイレクトメニュー**が表示されます。ダイレクトメニューは撮影時/再生時/出力時に画像調整をするメニューです。



- 再生画面のときは、シャッターレバーを全押しすると、撮影画面に切り替わります。

■ 撮影画面

液晶モニターで被写体を確認できます。この状態を**撮影モード**と呼びます。



■ 再生画面

撮影モード時にPLAYボタンを押すと、撮影済みの画像が表示されます。この状態を**再生モード**と呼びます。



1 ダイレクトメニュー(撮影モード)

MENU/OKボタンを押すと、液晶モニターの左側に表示されます。セルフタイマーやフラッシュ、明るさの調整など、撮影時の設定が可能です。

2 フィルム残量

3 バッテリー残量

4 広角モード

広角モードのとき、このマークが表示されます。

5 ダイレクトメニュー(再生モード)

MENU/OKボタンを押すと、液晶モニターの左側に表示されます。画像の位置や大きさ、画質、明るさなど、再生/出力時の画像調整が可能です。

6 操作ガイド

ダイレクトメニューの操作ガイドが表示されます。

7 出力済みマーク

出力済みの画像には、このマークが表示されます。

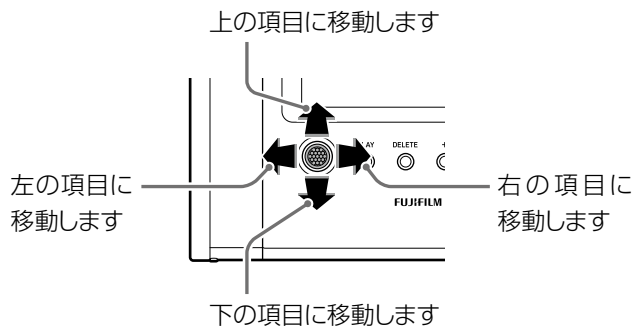
8 撮影日・時刻

カメラの準備

セレクトボタンとMENU/OKボタンの使いかた

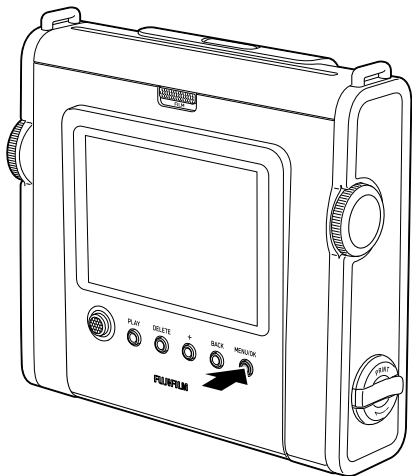
■セレクトボタン

メニュー項目を選択します。



■MENU/OKボタン

メニューの表示や選択した項目の決定をします。



メモリーカードを使用する

本機は内蔵メモリーに約 45 枚の静止画を保存できますが、メモリーカードを使用すると、より多くの画像を保存できます。

メモリーカードについての注意

- このカメラに対応しているメモリーカードは micro SD カードまたは micro SDHC カードです。指定以外のメモリーカードをご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 削除中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このようなときはいったん電源を切ってから、電源を入れ直してください。
- スポンのポケットなどにメモリーカードを入れしないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間で使用になった後、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

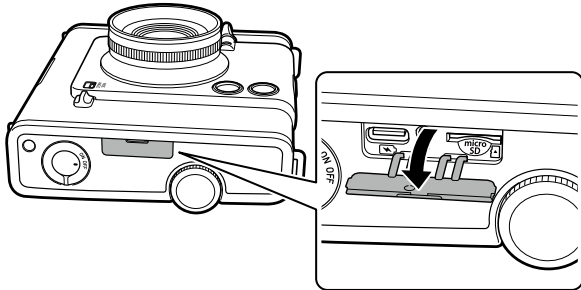
メモリーカードを PC で使用する場合の注意

- 未使用のメモリーカードや、PC やその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。PC でメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、削除などの操作を行わないでください。メモリーカードをカメラで使用できなくなることがあります。
- メモリーカード内の画像の削除は PC で行わないでください。必ずカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

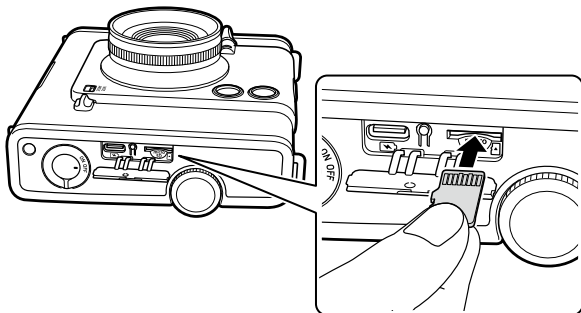
カメラの準備

メモリーカードを入れる

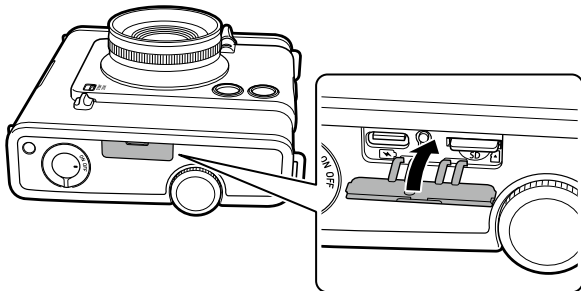
1 カードスロットカバーを開ける



2 図のように正しい向きで、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥まで差し込む

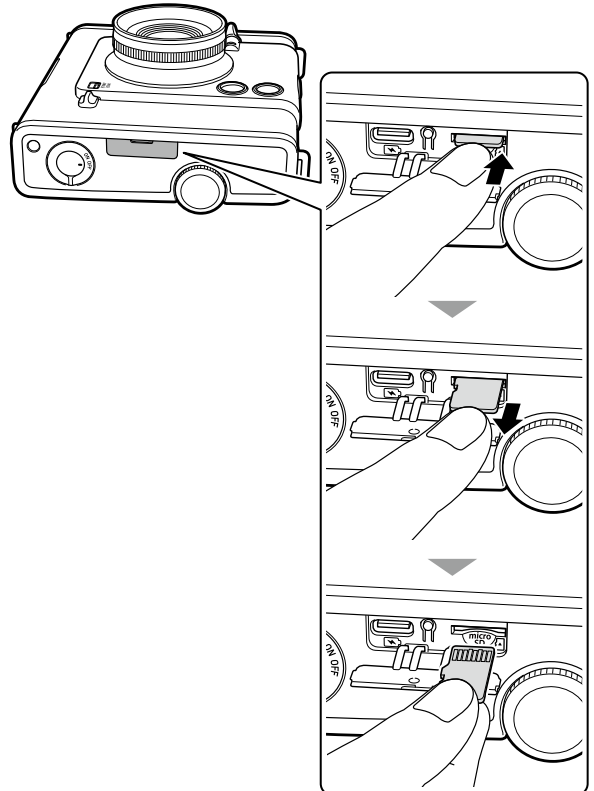


3 カードスロットカバーを閉じる



メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出す際は、カードスロットから飛び出さないよう、指で抑えながら取り出してください。

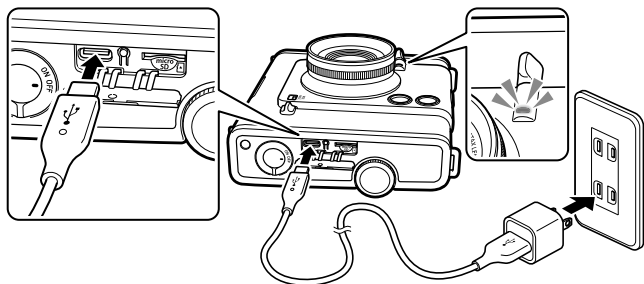


- メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻してください。ロックが外れて、取り出すことができます。

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。

カメラの準備

充電する



カメラとご使用のスマートフォンなどのUSB電源アダプタを、付属のUSB Type-Cケーブルで接続し、USB電源アダプタを屋内のコンセントにつなぎます。

- 充電時間の目安は約2～3時間です。
- 充電器から供給される電力は最低1.3ワットから最大2.5ワットまでになります。使用する充電器は1.3ワット以上のものをご利用ください。また、2.5ワット以上の充電器を使用しても、電力供給は2.5ワットで制限されます。

電源オフ時の充電状態の表示について

充電中	セルフタイマーランプ/充電ランプが点灯します。
充電完了	セルフタイマーランプ/充電ランプが消灯します。
充電エラー	セルフタイマーランプ/充電ランプが点滅します。

PCから充電するときは:

- USBハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとPCを接続してください。
- 充電中にPCが休止状態(スリープ状態)になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、PCの休止状態(スリープ状態)を解除した後、USB Type-Cケーブルを接続し直してください。
- PCの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 付属のUSB Type-Cケーブルは充電専用です。

ご注意

- お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- バッテリーについてのご注意は「取扱上のお願い」を参照してください。(36ページ)

フィルムカートリッジを入れる

注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

- フィルムカートリッジを入れるときは、フィルムカートリッジ背面の2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。
- 有効期限を過ぎたフィルムは絶対に使用しないでください(故障の原因となります)。

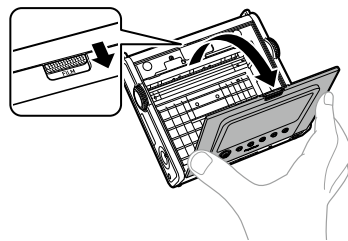
富士フィルム インスタントフィルム instax™ WIDEをご使用ください。instax™ SQUAREフィルムやinstax™ miniフィルムはご使用になれませんので、ご注意ください。

フィルムカートリッジについて

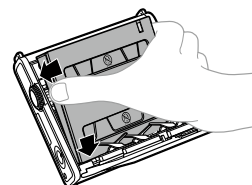
- フィルムカートリッジには黒いフィルムカバー1枚と10枚のフィルムが収納されています。
- フィルムカートリッジはカメラに入れる直前に内装袋から取り出してください。
- フィルムドアを閉めると、フィルムカバーが自動的に排出されます。

詳細は、富士フィルム インスタントフィルム instax™ WIDEの取扱説明を参照してください。

- 1 フィルムドアロックをスライドさせたまま、フィルムドアを持ち上げる



- 2 フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラ内部の黄色のマークを合わせ、フィルムパックを入れる



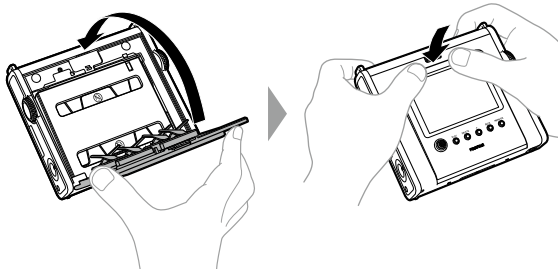
ご注意

カメラのマークとフィルムカートリッジのマークを合わせてください。

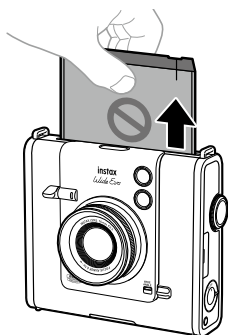
カメラの準備

3 フィルムドアを閉じる

フィルムドアのロックがかかるまで押し込んでください。

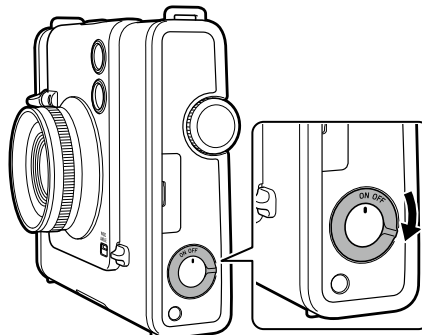


4 自動的に排出される黒いフィルムカバーを取り除く

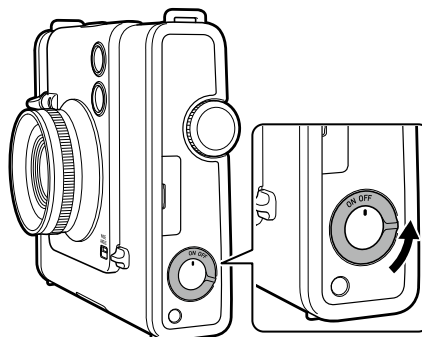


電源を入れる/切る

電源スイッチをONにして、電源を入れます。



電源スイッチをOFFにして、電源を切ります。



ご注意

一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。カメラの電源が自動的に切れたときは、電源スイッチをOFFにしてから再度ONにすると、電源が入ります。

バッテリー残量の確認方法

液晶モニターの下部にバッテリー残量が表示されます。

表示	バッテリーの残量
	残量が十分にあります。
	残量が半分以下です。充電することをお勧めします。
	残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。

- バッテリー残量が不足すると、液晶モニター中央にアイコン () が表示され、電源が切れます。

カメラの準備

言語と日時を設定する

ご購入後初めて電源を入れると、使用する言語や日時を設定する画面が自動で表示されます。

この設定はあとで行うこともできます。あとで設定する場合や設定をやり直したい場合は、設定メニューの【言語 / LANG.】、【日時設定】から行ってください。

1 電源を入れる

- ご購入後に初めて電源を入れたときは、言語設定画面が表示されます。

2 セレクトボタンを上下に動かして、使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押す

- 初期設定では[日本語]が選択されています。



- セレクトボタンを上下に動かしたままにすると、次のページに移動します。



3 セレクトボタンを上下に動かして、年月日の並び順を設定し、MENU/OK ボタンを押す



4 年、月、日、時、分を設定し、MENU/OK ボタンを押す

セレクトボタンを左右に動かして、設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、セレクトボタンを上下に動かして、設定する数字を選びます。



5 MENU/OK ボタンを押す

言語と日時の設定が完了します。

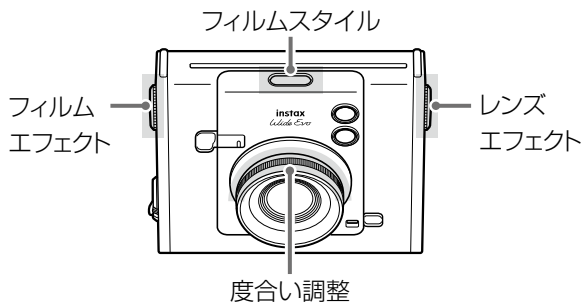
基本の操作 — 撮影・再生・出力

基本的な撮影

撮影する

基本的な撮影手順を説明します。

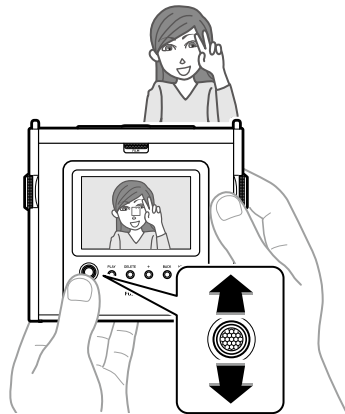
- 1 電源を入れる
- 2 カメラを構える
- 3 必要に応じてエフェクトなどの設定をする



各エフェクトについて詳しくは、「エフェクトを使った撮影」をご覧ください。

4 構図を決める

セレクトボタンを上下に動かして、構図を調節します (ズーム機能)。上に動かすと、遠くの被写体を大きく写し、下に動かすと、広い範囲が写ります。



• 広角モードのときは、ズーム機能は使えません。

5 シャッターレバーを半押しして、被写体にピントを合わせる

ピントが合ったとき



ピピッと音が鳴り、緑色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。

[顔検出] が有効のときは、カメラが人物の顔を認識すると、顔の上に緑色の AF フレームが表示されます。23 ページの「ピントを合わせやすくする」をご覧ください。

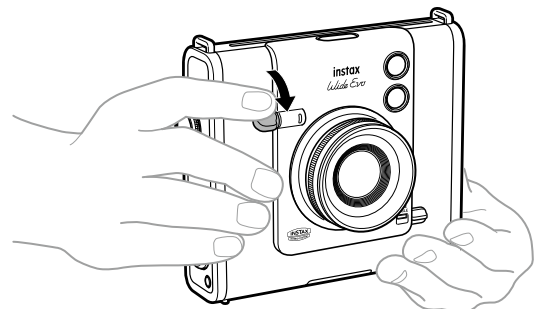
ピントが合わないとき



赤色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AE ロックを使用してください。15 ページの「AF/AE ロックを使用して撮影する」をご覧ください。

6 シャッターレバーを半押ししたまま、さらに深く押し込む (全押しする)

写真が撮影され、画像が内蔵メモリー、またはメモリーカードに保存されます。



• 撮影した画像を出力する手順は、18 ページの「出力する」をご覧ください。

基本の操作 — 撮影・再生・出力

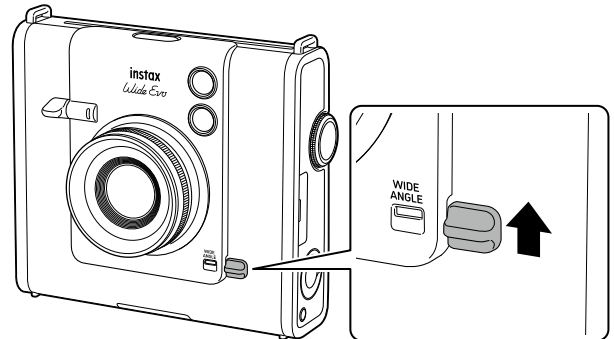
- 撮影するときは脇を締め、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターレバーを押すときは、カメラレンズに触れないように注意してください。
- シャッターレバーを全押しするときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。
- 指やショルダーストラップがフラッシュ、レンズに掛からないように注意してください。
- 暗い場所または逆光時は、シャッターレバーを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないように、フラッシュの設定を変更できます。22 ページの「フラッシュを使用して撮影する」をご覧ください。

内蔵メモリーについての注意

- 内蔵メモリーがいっぱいになると、シャッターが切れず、撮影ができません。画像を削除するか、メモリーカードを使用してください。
- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
- 大切な画像は、別途バックアップ保存されることをお勧めします。
- カメラを修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

広角で撮影する

広角モードで撮影するときは、広角スイッチを上スライドしてください。



通常モード

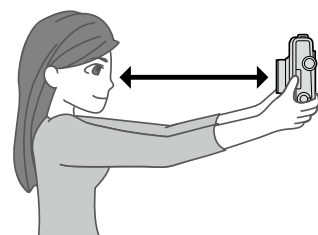


広角モード

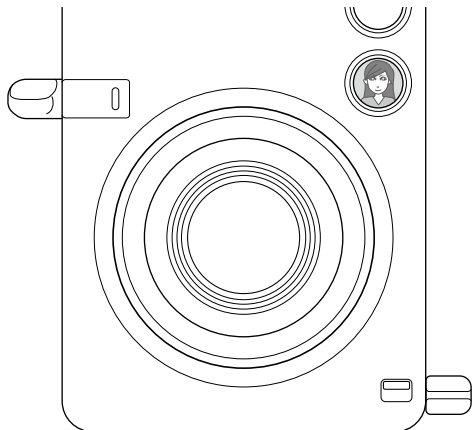
自分自身を撮影する(セルフイー)

セルフイーミラーを使用して、自分自身を撮影することができます。

- 1 しっかりとカメラを持って、レンズの先から30cm～50cmになるように構える
 - 暗い所では特に手ブレしやすいので、カメラをしっかりと持ってください。



2 セルフィーミラーで構図を確認し、撮影する



• 撮影時にはフラッシュを見つめないでください。フラッシュの残像で、一時的に目が見えにくくなる場合があります。

AF/AEロックを使用して撮影する

撮影するときに、シャッターレバーを半押しし続けてピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

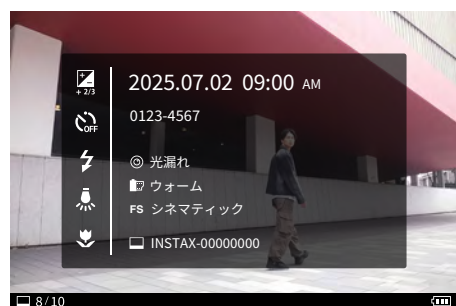
- 1 シャッターレバーを半押しして、被写体にピントを合わせる
シャッターレバーを半押しすると、AF と AE がロックされます。
- 2 シャッターレバーを半押ししたまま構図を変える
- 3 シャッターレバーを全押しして、撮影する


以下の被写体を撮影するときは、ピントが合いにくくなる場合がありますので、AF/AE ロックを使用して撮影することをお勧めします。

- 鏡や車のボディなど光沢のある被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収する被写体
- 煙や炎などの実体のない被写体
- 背景との明暗差が少ない被写体（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前後に被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

撮影情報を見る

撮影モードのときに BACK ボタンを押すと、液晶モニターに以下のような情報画面が表示されます。撮影画面に戻るときは、もう一度 BACK ボタンを押してください。



メモリーカードを挿入しているときは、情報表示画面に  マークが表示されます。

基本の操作 — 撮影・再生・出力

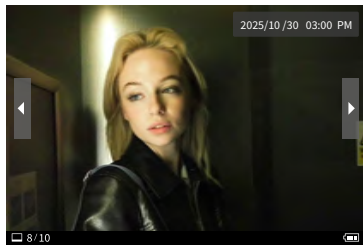
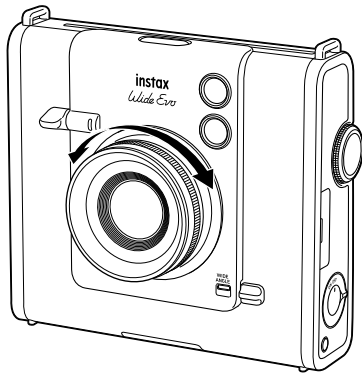
撮影した画像を再生する

撮影した画像を液晶モニターで再生できます。

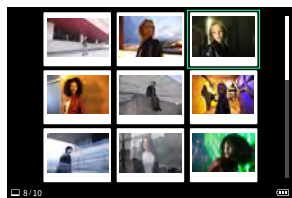
- 1 電源を入れる
- 2 PLAY ボタンを押す
最後に撮影した画像が表示されます。
- 3 セレクトボタンを左右に動かして、表示したい画像を選ぶ
・シャッターレバーを全押しするか、PLAYボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

■表示する画像のコマ数を変更する

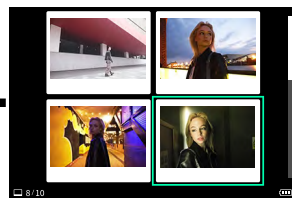
再生画面を表示中に度合い調整ダイヤルを回すと、表示する画像のコマ数を変更することができます。



1コマ表示



9コマ表示



4コマ表示

画像を削除する

不要な画像を削除することができます。まとめて複数の画像を削除することもできます。

1コマ表示のとき

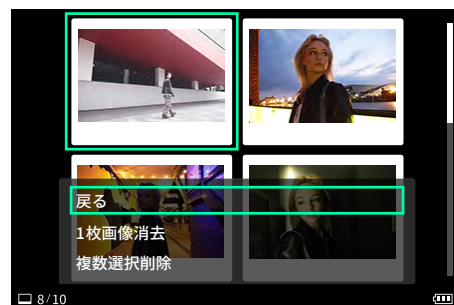
- 1 セレクトボタンを左右に動かして、削除したい画像を選ぶ
- 2 DELETE ボタンを押す
削除メニューが表示されます。



- 3 セレクトボタンを上下に動かして、[1枚画像消去]を選び、MENU/OK ボタンを押す
- 4 MENU/OK ボタンを押す
選択した画像が削除されます。
・削除を中止するときは、BACKボタンを押してください。

4コマ/9コマ表示のとき

- 1 セレクトボタンを上下左右に動かして、削除したい画像を選ぶ
- 2 DELETE ボタンを押す
削除メニューが表示されます。

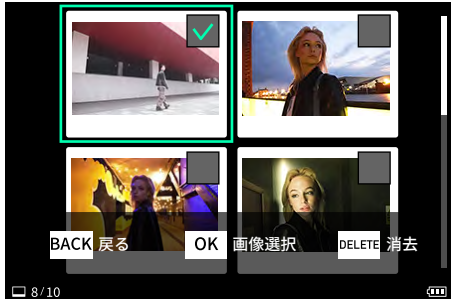


- 3 セレクトボタンを上下に動かして、[1枚画像消去]または[複数選択削除]を選び、MENU/OK ボタンを押す

基本の操作 — 撮影・再生・出力

4 [複数選択削除] を選んだときは、セレクトボタンを上下左右に動かして、削除したい画像を選び、MENU/OK ボタンを押す

選択した画像に ✓ マークが表示されます。



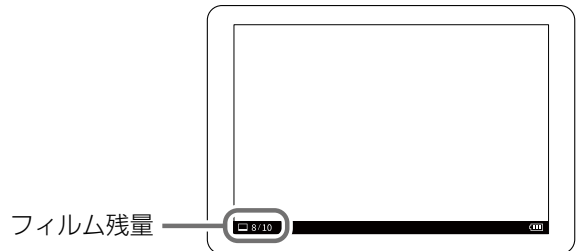
5 削除したい画像をすべて選択したら、DELETE ボタンを押す

選択した画像が削除されます。

- 削除を中止するときは、BACK ボタンを押してください。

フィルム残量表示について

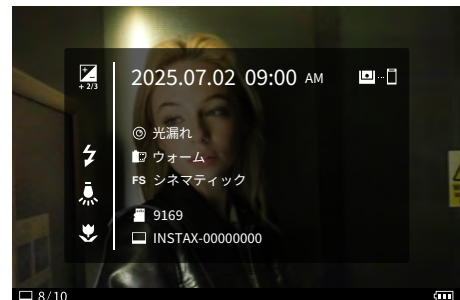
フィルム残量は画面下部に表示されます。




- フィルムの取り扱いについては、富士フィルム インスタントフィルム "instax™ WIDE" の取扱説明書を参照してください。
- フィルムの現像時間は約 90 秒です (気温によって時間は変動します)。

撮影情報を見る

再生モードのときに BACK ボタンを押すと、液晶モニターに以下のような情報画面が表示されます。元の画面に戻るときは、もう一度 BACK ボタンを押してください。



メモリーカードを挿入しているときは、情報表示画面に  マークが表示されます。

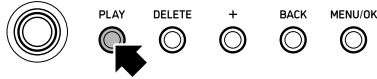
基本の操作 — 撮影・再生・出力

出力する

撮影した画像を出力できます。出力時には、画像の回転、拡大、画質、明るさの調整が可能です。

1 PLAYボタンを押す

再生モードになります。

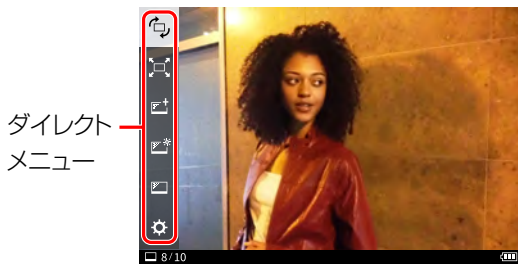


2 セレクトボタンを左右に動かして、出力したい画像を選ぶ



3 必要に応じて、画像の回転、拡大、画質、明るさの調整を行う

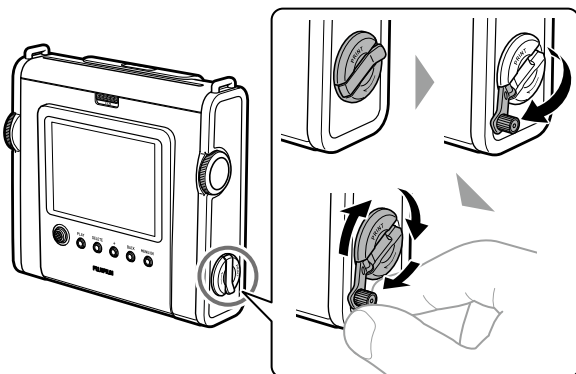
MENU/OKボタンを押して設定メニューを表示します。セレクトボタンを上下に動かして項目を選び、MENU/OKボタンを押して決定します。



操作方法について詳しくは、「いろいろな再生 — ダイレクトメニュー」をご覧ください。

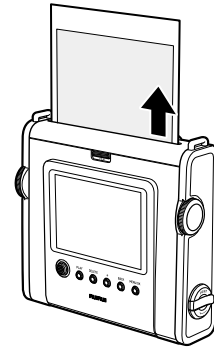
4 プリントクランクのレバーを持ち上げ、時計回りの方向に回転する


プリントクランクの動きに合わせて、液晶モニター右側のプリントゲージの目盛りが上がります。一番上までくると出力が始まります。



- 目盛りが一番上までくる前にプリントクランクを反時計に回すと、出力をキャンセルできます。
- 目盛りが一番上まできていない状態のままにしておくと、目盛りは下がっていきます。

5 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



- 出力した画像には、再生モードで選択時、 (出力済み) マークが表示されます。
- ダイレクトメニューからも出力することができます。

ご注意

指やストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

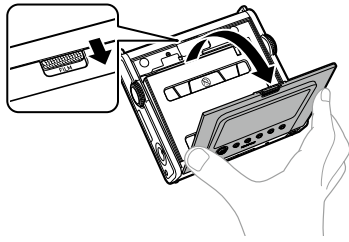
- スマートフォンのアプリとペアリングすると、画像にいろいろなフレームを付けたりすることもできます。詳しくは、instax™のHPをご覧ください。
https://instax.com/wide_evo/

フィルムカートリッジを取り出す

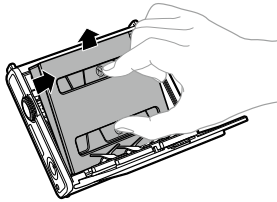
注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

- 1 フィルムドアロックをスライドさせたまま、フィルムドアを持ち上げる



- 2 フィルムカートリッジの穴をつまみ、フィルムカートリッジを引き出す



撮影データについて

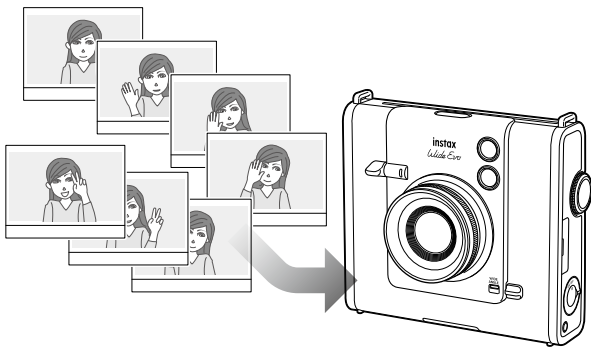
撮影データの保存先

micro SDカードの挿入あり/なしでデータの保存先が変わります。

micro SDカードを挿入しない場合

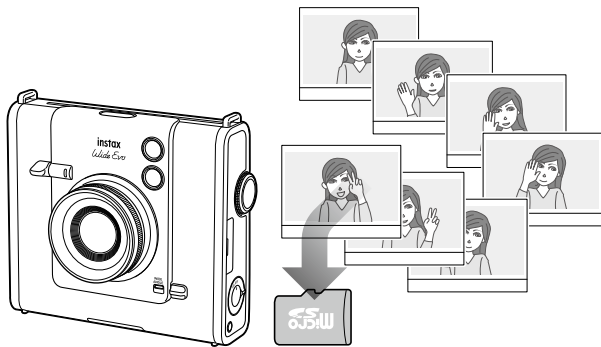
micro SDカードを挿入しないで撮影した場合、撮影データはカメラの内蔵メモリーに保存されます。

- ・内蔵メモリーの上限枚数に注意してください。



micro SDカードを挿入した場合

micro SDカード挿入時は、データはmicro SDカードに保存され、カメラの内蔵メモリーには保存されません。



- ・カメラの内蔵メモリーやmicro SDカードに保存した画像は、自動で削除されません。画像がいっぱいになった場合は、画像を削除してください。

撮影・保存可能枚数

撮影可能枚数と保存可能枚数の目安は以下となります。

撮影可能枚数

	内蔵メモリー	micro SDカード 挿入時
ワイドアングル モード以外の 画像	2560×1920 ピクセル 約45枚	2560×1920ピクセル 1GBあたり約850枚
ワイドアングル モードの画像		4608×3456ピクセル 1GBあたり約280枚

応用操作 — 撮影

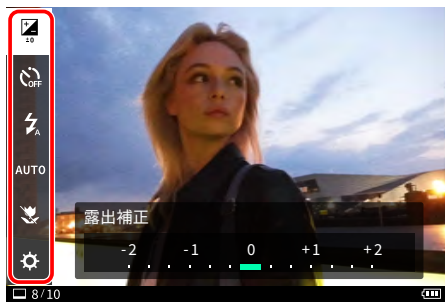
いろいろな撮影 — ダイレクトメニュー

撮影画面で MENU/OK ボタンを押して、ダイレクトメニューを表示すると、以下の撮影方法を変更することができます。

画像の明るさを変えて撮影する

画像の明るさを調整します。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使用します。

1 セレクトボタンを上下に動かして、[] を選ぶ



2 セレクトボタンを左右に動かして、露出を補正する

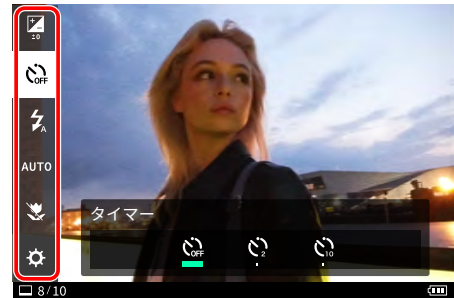
- 右に動かすと + 側に露出が補正され、画像全体を明るくできます。
- 左に動かすと - 側に露出が補正され、画像全体を暗くできます。

3 シャッターレバーを全押しする

セルフタイマーを使用して撮影する

撮影者を含めた集合写真を撮影するときや、シャッターレバーを押すときにカメラが動くのを防ぐために使用します。

1 セレクトボタンを上下に動かして、[] を選ぶ



2 セレクトボタンを左右に動かして、[2] (2秒) または [10] (10秒) を選ぶ

- セルフタイマーを設定しない場合は [OFF] (オフ) を選びます。

3 シャッターレバーを全押しする

カウントダウンが始まります。

[2秒] を選んだ場合：

シャッターレバーを押すと、セルフタイマーランプが点滅します。

[10秒] を選んだ場合：

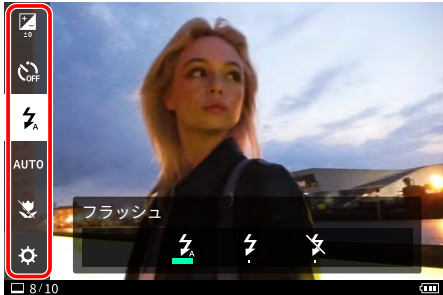
シャッターレバーを押すと、セルフタイマーランプが点灯し、撮影の2秒前からは点滅に変わります。

セルフタイマーを途中でキャンセルするには、BACK ボタンを押します。

フラッシュを使用して撮影する

夜や暗い室内などで撮影をするときは、フラッシュを使用して撮影してください。フラッシュが発光しないように設定することもできます。

1 セレクトボタンを上下に動かして、[⚡]を選ぶ



2 セレクトボタンを左右に動かして、フラッシュの設定を選ぶ

- ・フラッシュの設定の詳細は「フラッシュの種類」を参照してください。

3 シャッターレバーを全押しする

フラッシュが発光して、撮影されます。

■フラッシュの種類

⚡ オートフラッシュ

周囲が暗い場合は、自動でフラッシュが発光します。ほとんどの状況に適した設定です。

⚡ 強制発光

周囲の明るさに関わらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときに使用します。

✖ 発光禁止

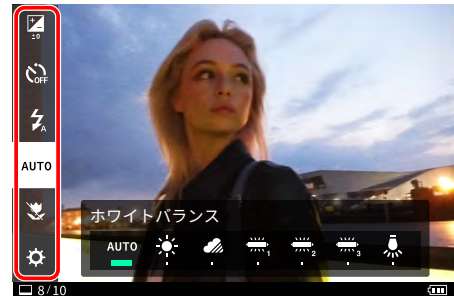
周囲が暗いときでも、フラッシュを発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。

フラッシュを使用せずに暗いところで撮影する場合は、カメラをテーブルなどに固定して撮影することをお勧めします。

光源に合わせて撮影する

太陽光や照明などの光源に合わせてホワイトバランスを設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1 セレクトボタンを上下に動かして、[AUTO]を選ぶ



2 セレクトボタンを左右に動かして、いずれかの設定を選ぶ

- ・ホワイトバランスの設定の詳細は「ホワイトバランスの種類」を参照してください。

3 シャッターレバーを全押しする

■ホワイトバランスの種類

AUTO AUTO

カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、AUTOをお勧めします。

☀ 晴れ

晴天の屋外での撮影用です。

☁ 日陰

曇天や日陰などでの撮影用です。

💡 蛍光灯 1

昼光色蛍光灯の下での撮影用です。

💡 蛍光灯 2

昼白色蛍光灯の下での撮影用です。

💡 蛍光灯 3

白色蛍光灯の下での撮影用です。

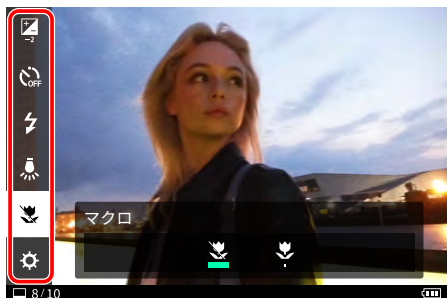
💡 電球

電球、白熱灯の下での撮影用です。

マクロ撮影する

被写体に近づいて撮影をするときは、マクロ撮影してください。

- 1 セレクトボタンを上下に動かして、**[🌸]**を選ぶ



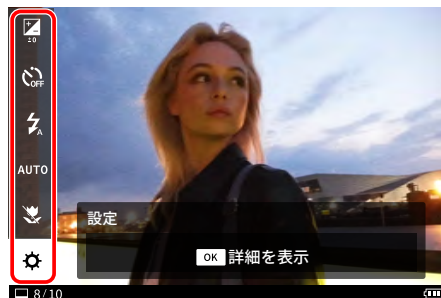
- 2 セレクトボタンを左右に動かして、**[🌸]**を選ぶ
- 3 シャッターレバーを全押しする
マクロ撮影されます。

マクロ撮影を解除するときは、**[🌸]**を選んでください。

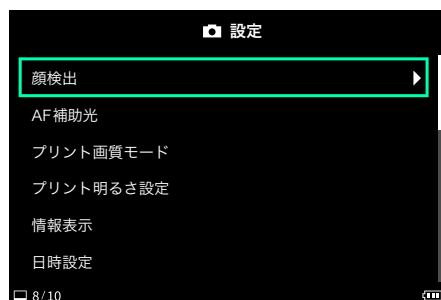
ピントを合わせやすくする

設定メニューを使って、顔検出機能と AF 補助光の設定を変更できます。

- 1 撮影画面で、MENU/OK ボタンを押す
ダイレクトメニューが表示されます。



- 2 セレクトボタンを上下に動かして、**[⚙️]**を選び、
MENU/OK ボタンを押す
設定メニューが表示されます。



- 3 セレクトボタンを上下に動かして、項目を選ぶ
・各項目については、以下の「設定メニューの項目」をご覧ください。
- 4 設定を変更する
- 5 MENU/OK ボタンを押す
設定が反映され、撮影画面に戻ります。

■設定メニューの項目

顔検出

顔検出を [ON] にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。

AF補助光

[ON] を選ぶと、シャッターレバーを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

- ・シーンによっては、AF 補助光を発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ・被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ・人の目に近づけて発光させないでください。

エフェクトを使った撮影

エフェクトを加えて撮影する

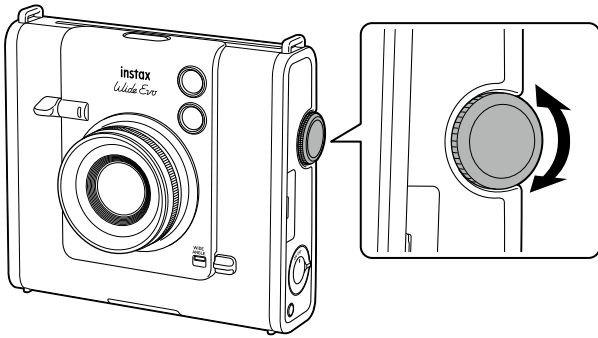
このカメラには、レンズエフェクト、フィルムエフェクト、フィルムスタイルの3つのエフェクトがあります。

+ (ファンクション) ボタンを押して、登録したお気に入りのレンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムスタイルを呼び出すこともできます。

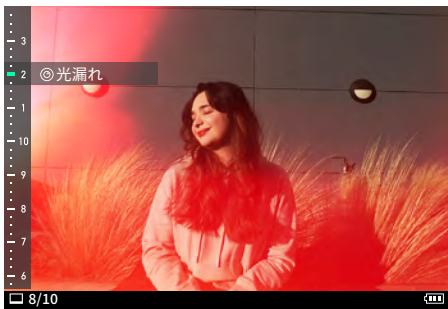
レンズエフェクトを選ぶ

以下の手順でレンズエフェクトの種類を選びます。

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 レンズダイヤルを回して、レンズエフェクトの種類を選ぶ



液晶モニターの左側にガイドが表示されます。



- 設定したレンズエフェクトを解除するにはレンズエフェクトの種類から[ノーマル]を選びます。
- エフェクトリセットボタンを押すと、設定したレンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムスタイルが解除されます。

レンズエフェクトの度合いを調整する

レンズエフェクトの効果レベルを調整することができます。

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 レンズダイヤルを回して、レンズエフェクトの種類を選ぶ
- 3 度合い調整ダイヤルを回して、レンズエフェクトの度合いを調整する

画面を見ながらお好みの度合いを設定してください。

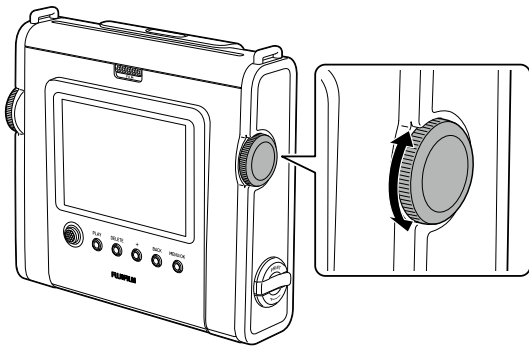


エフェクトを使った撮影

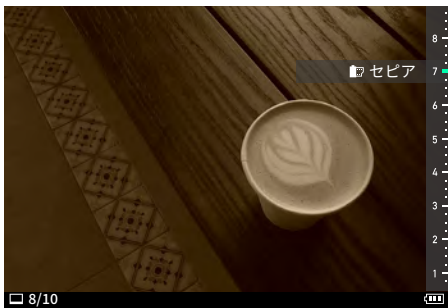
フィルムエフェクトを選ぶ

以下の手順でフィルムエフェクトの種類を選びます。

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 フィルムダイヤルを回して、フィルムエフェクトの種類を選ぶ



液晶モニターの右側にガイドが表示されます。



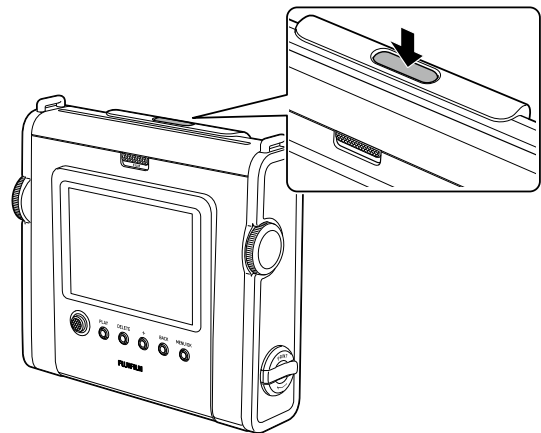
- 設定したフィルムエフェクトを解除するにはフィルムエフェクトの種類から[ノーマル]を選びます。
- エフェクトリセットボタンを押すと、設定したレンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムスタイルが解除されます。

フィルムスタイルを選ぶ

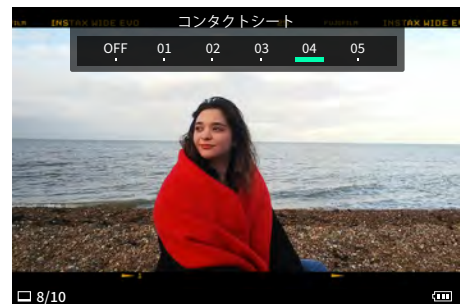
以下の手順でフィルムスタイルの種類を選びます。

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 フィルムスタイルボタンを押して、フィルムスタイルの種類を選ぶ

フィルムスタイルを選択すると、フィルムスタイルボタンのLEDが点灯します。(設定メニューの[フィルムスタイルLED]が[ON]に設定されているとき)



以下のガイドが表示されます。



- 設定したフィルムスタイルを解除するにはフィルムスタイルの種類から[OFF]を選びます。
- エフェクトリセットボタンを押すと、設定したレンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムスタイルが解除されます。

エフェクトを使った撮影

エフェクトの組み合わせを割り当てる

お気に入りのエフェクトの組み合わせを登録することができます。登録したエフェクトの組み合わせは、+(ファンクション) ボタンを押すと呼び出すことができます。

エフェクトの組み合わせを登録する

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 レンズダイヤルを回して、レンズエフェクトの種類を選ぶ
- 3 フィルムダイヤルを回して、フィルムエフェクトの種類を選ぶ
- 4 フィルムスタイルボタンを押して、フィルムスタイルの種類を選ぶ
- 5 +(ファンクション) ボタンを押す
- 6 MENU/OK ボタンを押す
- 7 セレクトボタンを上下に動かして、お気に入り [1] からお気に入り [10] のいずれかを選ぶ
エフェクトの組み合わせは最大 10 まで登録できます。



- 8 MENU/OK ボタンを押す
エフェクトが登録されます。

お気に入りのエフェクトを呼び出す

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 +(ファンクション) ボタンを 2 回押す
- 3 セレクトボタンを左右に動かして、お気に入り [1] からお気に入り [10] のいずれかを選ぶ
エフェクトが反映されます。

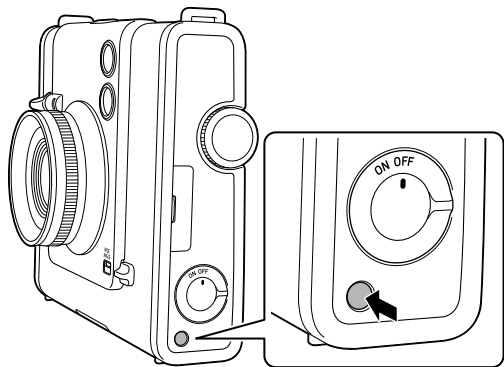


エフェクトを使った撮影

レンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムスタイルをリセットする

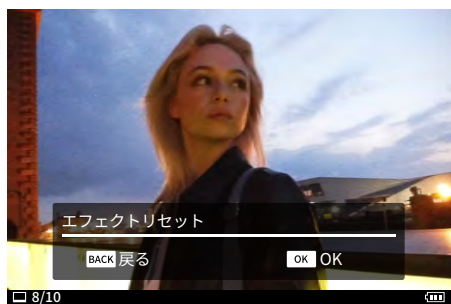
レンズエフェクトとフィルムエフェクト、フィルムスタイルの設定をリセットします。

1 エフェクトリセットボタンを押す



2 MENU/OK ボタンを押す

エフェクトがリセットされます。



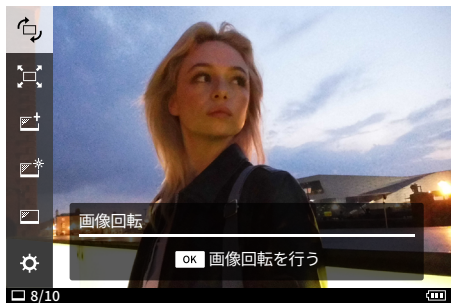
再生・出力の設定

いろいろな再生 — ダイレクトメニュー

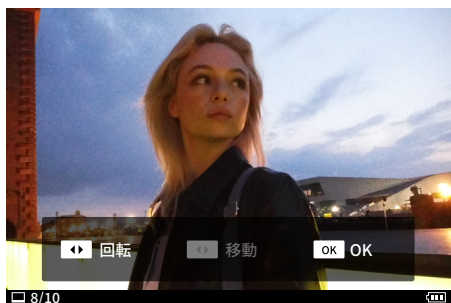
再生画面で MENU/OK ボタンを押して、ダイレクトメニューを表示すると、画像の表示や出力方法を変更することができます。再生画面の表示方法は、16 ページをご覧ください。

画像を回転する/画像の位置を調整する

- 1 セレクトボタンを左右に動かして、表示したい画像を選ぶ
- 2 MENU/OK ボタンを押す
ダイレクトメニューが表示されます。
- 3 セレクトボタンを上下に動かして、[🔄] を選ぶ



- 4 MENU/OK ボタンを押す
画像回転画面が表示されます。

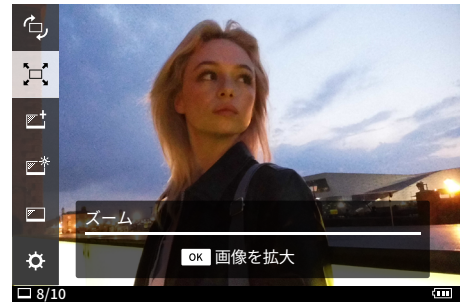


- 5 セレクトボタンを左右に動かして、画像の向きを選ぶ
- 6 セレクトボタンを上下に動かして、画像の位置を調整する
・拡大した画像は位置を調整することはできません。
- 7 MENU/OK ボタンを押す
調整した画像が表示されます。

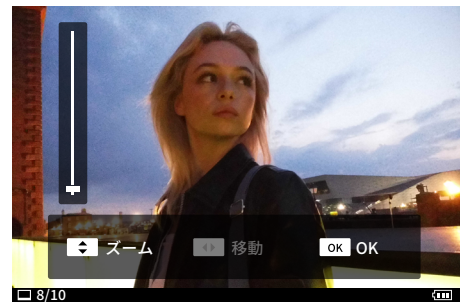
画像を拡大して表示する

画像を拡大して表示できます。

- 1 セレクトボタンを左右に動かして、表示したい画像を選ぶ
- 2 MENU/OK ボタンを押す
ダイレクトメニューが表示されます。
- 3 セレクトボタンを上下に動かして、[🔍] を選ぶ



- 4 MENU/OK ボタンを押す
拡大縮小画面が表示されます。



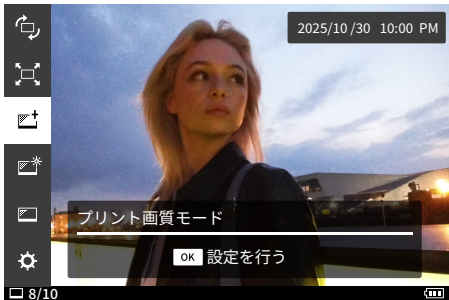
- 5 セレクトボタンを上下に動かして、画像の大きさを調整する
- 6 セレクトボタンを左右に動かして、画像の位置を調整する
- 7 MENU/OK ボタンを押す
調整した画像が表示されます。

再生・出力の設定

画像の画質を選ぶ

出力するときの画質を選ぶことができます。

- 1 セレクトボタンを左右に動かして、表示したい画像を選ぶ
- 2 MENU/OK ボタンを押す
ダイレクトメニューが表示されます。
- 3 セレクトボタンを上下に動かして、**[画質]**を選ぶ



- 4 MENU/OK ボタンを押す
プリント画質モード画面が表示されます。
- 5 セレクトボタンを上下に動かして、**プリント画質モード**を選ぶ
従来画質の [instax-Natural モード] または色彩表現が豊かな [instax-Rich モード] (工場出荷時の設定) に設定します。
- 6 MENU/OK ボタンを押す
元の画面に戻ります。

出力画像の明るさを選ぶ

出力するときの画像の明るさを調整することができます。

- 1 セレクトボタンを左右に動かして、表示したい画像を選ぶ
- 2 MENU/OK ボタンを押す
ダイレクトメニューが表示されます。
- 3 セレクトボタンを上下に動かして、**[明るさ]**を選ぶ



- 4 MENU/OK ボタンを押す
プリント明るさ設定画面が表示されます。
- 5 セレクトボタンを上下に動かして、**プリント明るさ設定**を選ぶ
[× 1.0 (標準)]、[× 1.5 (やや明るい)] または [× 2.0 (明るい)] を設定します。
- 6 MENU/OK ボタンを押す
元の画面に戻ります。

設定メニュー

設定メニューの操作と項目

設定メニューから各種設定の変更ができます。

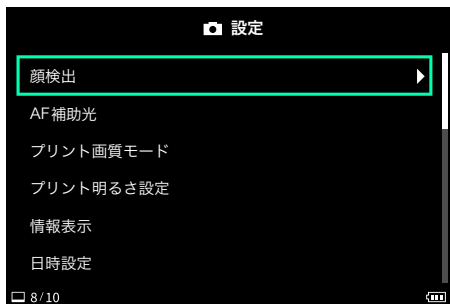
1 MENU/OK ボタンを押す

ダイレクトメニューが表示されます。



2 セレクトボタンを上下に動かして、[設定]を選び、MENU/OK ボタンを押す

撮影モードと再生モードに応じた設定メニューが表示されます。



3 セレクトボタンを上下に動かして、項目を選ぶ

- ・各項目については、以下の「設定メニューの項目(撮影モードのとき)」と「設定メニューの項目(再生モードのとき)」を参照してください。

4 設定を変更する

5 MENU/OK ボタンを押す

設定が反映され、元の画面に戻ります。

■設定メニューの項目(撮影モードのとき)

顔検出

顔検出を [ON] にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。

AF補助光

[ON] を選ぶと、シャッターレバーを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

プリント画質モード

従来画質の [instax-Natural モード]、または色彩表現が豊かな [instax-Rich モード] (工場出荷時の設定) に設定します。

プリント明るさ設定

[× 1.0 (標準)]、[× 1.5 (やや明るい)] または [× 2.0 (明るい)] を設定します。

情報表示

カメラのシリアル番号を表示します。

日時設定

日付と時刻を設定します。

言語/LANG.

液晶モニターに表示する言語を設定します。

音量設定

操作音、シャッター音量、起動音の音量を設定します。音を消したい場合は、[OFF] に設定します。

自動転送設定

自動転送を行うかどうかを設定します。

自動電源OFF

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。

フィルムスタイルLED

[ON] に設定すると、フィルムスタイルを選択中にフィルムスタイルボタンの LED が点灯します。

リセット

設定値を工場出荷時の設定に戻します。日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

フォーマット

カメラの内蔵メモリーまたはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている画像はすべて削除されます。

バージョンアップ

ファームウェアのバージョンアップを行います。詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」をご覧ください。

設定メニュー

■ 設定メニューの項目(再生モードのとき)

画像転送

カメラでプリントした画像をスマートフォンアプリに送信すると、スマートフォン内に instax フレーム付き画像として保存できます。

画像コピー

画像を内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。

以下の手順で行います。

1. 再生メニューから [画像コピー] を選ぶ
2. コピー元とコピー先を選び、MENU/OK ボタンを押す
3. [1 コマ]、[複数コマ] または [全コマ] を選び、MENU/OK ボタンを押す
[1 コマ] を選んだ場合は、コピーが開始されます。
[全コマ] を選んだ場合は、MENU/OK ボタンを押すと、コピーが開始されます。
[複数コマ] を選んだ場合は、セレクトボタンを上下左右に動かして、コピーする画像を選び、+ボタンを押すとコピーが開始されます。

画像全削除

内蔵メモリーまたはメモリーカードの画像を全コマまとめて削除します。

情報表示

カメラのシリアル番号を表示します。

日時設定

日付と時刻を設定します。

言語/LANG.

液晶モニターに表示する言語を設定します。

音量設定

操作音、シャッター音量、起動音の音量を設定します。
音を消したい場合は、[OFF] に設定します。

自動転送設定

撮影したデータをスマートフォンアプリに自動転送するかどうかを設定します。

自動電源OFF

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。

フィルムスタイルLED

[ON] に設定すると、フィルムスタイルを選択中にフィルムスタイルボタンの LED が点灯します。

リセット

設定値を工場出荷時の設定に戻します。
日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

バージョンアップ

ファームウェアのバージョンアップを行います。
詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」をご覧ください。

■ ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアのバージョンアップは2通りあります。PC 経由でバージョンアップする場合は、あらかじめメモリーカードを用意してください。

● スマートフォンアプリ「instax WIDE Evo」から行う

1. スマートフォンアプリ「instax WIDE Evo」を起動する
2. 設定メニューの [ファームウェアバージョンアップ] をタップする
3. [OK] をタップする
4. 画面の指示に従って操作する

● カメラ本体から行う

1. PC など富士フィルムのウェブサイトから最新のファームウェア (FPUPDATE.DAT) をダウンロードして、メモリーカードのルートディレクトリーにコピーする
2. ファームウェアをコピーしたメモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
3. 設定メニューから [バージョンアップ] を選ぶ
4. 画面の指示に従って操作する

アプリについて

スマートフォンアプリ連携で使える機能

スマートフォンアプリ「instax WIDE Evo」と連携すると以下の機能が使用できます。



■ダイレクトプリント

スマートフォン内の画像をカメラ本体に送信してinstaxプリントすることができます。送信前に、スマートフォンアプリで画像の移動や回転、拡大縮小ができます。

■リモート撮影

フラッシュやセルフタイマーをスマートフォンアプリで設定して、リモート撮影できます。

■プリント画像保存

カメラから出力した画像をスマートフォンアプリに送信すると、スマートフォン内にinstaxフレーム付き画像として保存できます。

■Discover Feed

アプリ内の[Discover Feed]上に、他のユーザーや自分の作品が掲載されます。使用したエフェクトを確認することも可能です。

■お気に入り登録

過去に自分が出力した作品のエフェクトや、他のユーザーが使用したエフェクトを簡単に自分のカメラのお気に入りに登録できます。

スマートフォンアプリを設定する

ペアリング登録する前に、ご使用のスマートフォンに「instax WIDE Evo」アプリをインストールしてください。

- Android OS のスマートフォンをご使用の場合は、Google Play から「instax WIDE Evo」を検索し、インストールしてください。

* Android OSのスマートフォンの動作環境: Android Ver 10以上、かつGoogle Playがインストールされている

- iOS のスマートフォンをご使用の場合は、App Store から「instax WIDE Evo」を検索し、インストールしてください。

* iOSのスマートフォンの動作環境: iOS Ver 15以上

スマートフォンの機種によっては、スマートフォンアプリをインストールし、上記の動作環境を満たしている場合でも、使用できない場合があります。



iOS



Android OS

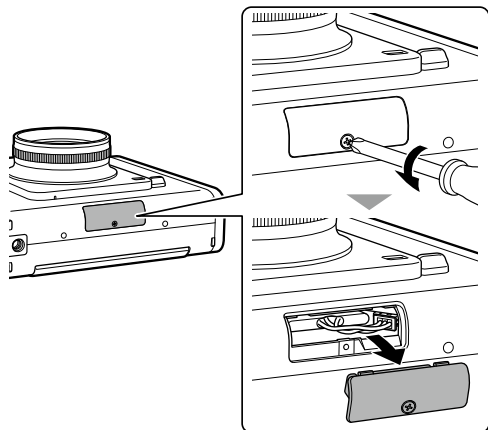
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 1 あらかじめ端末にダウンロードしたアプリ「instax WIDE Evo」を起動する
- 2 利用規約をご確認いただき、[同意する]をタップする
- 3 利用地域を選んで、[OK]をタップする
国内で使用する場合は、[上記以外の地域]を選びます。
- 4 プライバシーポリシーをご確認いただき、[同意する]をタップする
- 5 [Bluetooth 接続設定へ]をタップする
- 6 [許可]をタップする
- 7 お使いのカメラが検出されたら、[接続]をタップする
複数のカメラが検出された場合は、接続したいカメラを一覧から選択してください。
カメラの識別名 (SSID) は、カメラの底面に記載されています。
- 8 お使いのカメラのシリアル番号を入力して、[接続]をタップする
- 9 [次へ]をタップする
- 10 簡易使用説明が表示されるのでお読みいただき、[次へ]をタップする

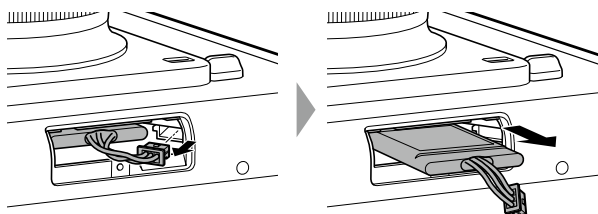
カメラを廃棄するときは

本機を廃棄するときは、本機からバッテリーを取り出し、排出協力店・自治体の指示に従い廃棄してください。

1 ドライバー(別売り)を使って、底面のカバーを外す



2 配線を引き出し、コネクタを外し、バッテリーを抜く



その他の情報

仕様

■カメラ機能

撮像素子	1/3型CMOS原色フィルター
記録画素数	4608 × 3456ピクセル(広角スイッチONかつmicro SDカード利用時) 2560 × 1920ピクセル(上記以外)
記録メディア	内蔵メモリー、 micro SD/micro SDHCカード
記録枚数	内蔵メモリー: 約45枚 micro SD/micro SDHCカード装着時、1GBあたり 4608 × 3456ピクセル: 約280枚 2560 × 1920ピクセル: 約850枚
記録方式	DCF準拠 Exif Ver 2.3
焦点距離	f= 16 mm(35 mmフィルム換算)
絞り	F2.4
オートフォーカス	シングルAF、顔認識AF(ON/OFF可) (AF補助光付)
撮影可能距離	10 cm ~ ∞
シャッタースピード	1/4秒 ~ 1/8000秒(自動切替)
撮影感度	ISO100~1600(自動切替)
露出制御	プログラムAE
露出補正	-2.0 EV ~ +2.0 EV(1/3 EVステップ)
測光方式	TTL256分割測光、マルチ測光
ホワイトバランス	AUTO、晴れ、日陰、蛍光灯1、蛍光灯2、 蛍光灯3、電球
フラッシュ	オートフラッシュ / 強制発光 / 発光 禁止 撮影可能範囲 約30 cm~1.5 m
セルフタイマー	約2秒 / 約10秒
画像エフェクト	レンズ系エフェクト10種(度合い調整機能付き)、フィルム系エフェクト10種、 フィルムスタイル6種の重ね合わせ動作 で表現が可能。

■プリント機能

露光画素数	1600×1260ドット (スマートフォンアプリからの印刷時は、 800×1260ドット)
-------	---

露光解像度	25ドット/mm × 12.5ドット/mm (635×318 dpi、40×80 μmドット ピッチ) スマートフォンアプリからの印刷時は、 12.5ドット/mm (318 dpi、80 μmドットピッチ)
露光階調	RGB各色256階調
インターフェース	準拠規格:Bluetooth Ver.5.1
プリント可能画像 フォーマット	カメラ内蔵メモリーおよびmicro SD/ micro SDHCカードからの場合: 本機で撮影したJPEG画像 スマートフォンからの場合: JPEG画像、PNG画像、HEIF画像
プリント出力時間	約16秒
プリント機能	内蔵メモリー内の画像+メモリーカード 内の画像をプリント可能

■その他

スマートフォンアプリ 連携機能	スマートフォン画像プリント機能、リモート 撮影機能、プリント済み画像データ転 送機能、バージョンアップ機能
液晶モニター	3.5型TFTカラー液晶モニター 画素数: 約46万ドット
外部インター フェース	USB Type-C(充電専用)
電源	リチウムイオン電池(内蔵型)
プリント可能枚数	約100枚(フル充電から) 使用条件によりプリント枚数は異なり ます。
充電時間	約2~3時間 気温によって異なります。
本体外形寸法	138.7 mm × 125 mm × 62.8 mm (突起部除く)
本体質量	約490g(フィルムカートリッジ、記録メ ディア、レンズキャップ含まず)
動作環境	温度: 5℃~40℃ 湿度: 20%~80%(結露しないこと)
使用フィルム	富士フィルム インスタントフィルム instax™ WIDE(別売)

* 上記の仕様は、性能向上のため変更する場合があります。

その他の情報

このようなときは

故障とお考えになる前に、以下の項目をお調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。

または下記のウェブサイトへアクセスしてください。

富士フィルムホームページ: <https://fujifilm.jp/>

使用中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因と対処法
電源が入らない。	バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
バッテリーの消耗が早い。	非常に寒い所でカメラを使用していると、バッテリーの消耗が早くなります。撮影前にカメラを温かくしておいてください。
使用中に電源が切れた。	バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。カメラを充電してください。
充電が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • USB 電源アダプタのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。 • 充電をするときは電源を切ってください。電源が入った状態では充電されません。
充電に時間が掛かりすぎる。	低温時は、充電に時間が掛かる場合があります。
充電中にセルフタイマーランプが点滅する。	周囲の温度が + 5℃ ~ + 40℃ の範囲で充電してください。この範囲でも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電源が入っているか確認してください。 • バッテリー残量が少なくなっている場合は、充電してください。 • 内蔵メモリーまたはメモリーカードがいっぱいになっている場合は、新しいメモリーカードを入れるか、不要な画像を削除してください。 • 本機でフォーマットしたメモリーカードを使用してください。 • メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れている場合は乾いた柔らかい布でふいてください。 • メモリーカードが壊れている可能性があります。新品のメモリーカードを入れてください。
ピントが合わせられない。	ピントが合いにくい被写体を撮影する場合は、AF/AE ロックを使用して撮影してください。

このようなときは	考えられる原因と対処法
フラッシュが発光しない。	フラッシュの設定で発光禁止が選ばれていませんか。発光禁止以外の設定を選んでください。
フラッシュが発光したのに、画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> • 被写体から離れすぎていませんか。フラッシュ撮影が可能な距離内で撮影してください。 • フラッシュを指などで塞がないよう、カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	<ul style="list-style-type: none"> • レンズに指紋などの汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。 • AF フレームが緑色になっていることを確認して撮影してください。
カメラが正常に作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。リセットボタンを押してください。それでも正常に作動しない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。 • バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
フィルムカートリッジが入らない、またはスムーズに入らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 富士フィルム インスタントフィルム instax™ WIDE を使用してください（他のフィルムは使用できません）。 • フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラの位置合わせマーク（黄色）を合わせて入れてください。
フィルムが排出されない。	<ul style="list-style-type: none"> • 振動や落下などの衝撃で、フィルムがずれている可能性があります。新しいフィルムカートリッジを入れてください。 • フィルムが詰まっている場合は電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、詰まったフィルムを取り除いてから、新しいフィルムカートリッジを入れてください。
でき上がったプリントの一部または全部が白くなっている。	フィルムを使い切るまで、フィルムドアを開けないでください。フィルムが残っている状態でフィルムドアを開けるとフィルムが感光して、感光した部分が白くなります。
プリントにむらがある。	<ul style="list-style-type: none"> • プリントされた直後にプリントを振る、曲げる、折る、押さえるなどしないでください。 • フィルム排出口を塞がないでください。
カメラが動作不具合を起こし、電源が切れない。	micro SD カードスロットの横にあるリセットボタンを押すと、電源を切ることができます。（4 ページ）

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影・出力以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- ⚠ 以下のような場合は、直ちにUSB Type-Cケーブルを外すとともに、電源を切ってカメラの使用を止めてください。
 - ・カメラが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が発生したとき
 - ・カメラを水中に落としたり、内部に水、または金属などの異物が入ったとき
- ⚠ カメラにはバッテリーが組み込まれているので、加熱や火中への投入、落としたり、衝撃を加えないでください。破裂の原因となることがあります。

⚠ 注意

- ⚠ 絶対に分解しないでください。けがの原因となることがあります。
- ⚠ 故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせず、お買い上げ店にご相談ください。
- ⚠ 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。けがの原因となることがあります。
- ⚠ フィルムドア内部の部品、突起物には触れないでください。けがや故障の原因となることがあります。
- ⚠ カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。
- ⚠ 充電が完了したら速やかにUSB Type-Cケーブルを外してください。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因となることがあります。
- ⚠ 本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。



このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を、製品が満たしていることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ認定(Conformité Européenne)の略)

取扱上のお願

■カメラの取り扱い

1. フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。
2. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
3. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
4. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
5. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
6. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
7. このカメラの使用温度範囲は+5℃から+40℃です。
8. 撮影される場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。
9. このカメラは一般のご家庭向けのものです。業務用の撮影など、大量に出力する用途には適しておりません。

■液晶モニターの取り扱い

液晶モニターは傷がつきやすいので、硬いものでこすらないように注意してください。傷を防止するために、市販の保護シートを貼ることをお勧めします。

■充電について

バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- ・付属のUSB Type-Cケーブルを使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が+5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

■使用上のご注意

長時間使用していると、カメラ本体が熱を帯びますが、故障では

その他の情報

ありません。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

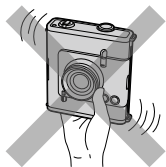
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

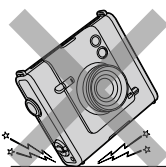
VCCI-B

■ 本製品が取得している認証関連のマークは、フィルムカートリッジ室内に表示されています。

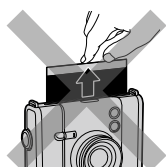
■ 出力中の注意事項



出力中にカメラを振らない



出力中にカメラを落とさない



出力中にフィルム排出口を塞がない

■ フィルム、写真の取り扱い

フィルム、写真の取り扱いかたについては、富士フィルム インスタントフィルム"instax™ WIDE"の取扱説明書を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
3. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く使用してください。
4. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。
6. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします(詳しくは各空港でご確認ください)。
7. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。
8. このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよう注意してください。また、ペーストが皮ふや衣服につかないようにしてください。
9. 誤って未使用フィルムのペーストにふれたときは、速やかに水で充分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗った後に医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出てから約10分間でアルカリ性が弱まります。

10. 撮影した写真を密閉した袋などに入れると、写真が変色する場合がありますので、密閉した状態では保管しないでください。

■ フィルムやでき上がった写真を取り扱うときの注意

詳細は、富士フィルム インスタントフィルム"instax™ WIDE"の取扱説明書を参照してください。



Bluetooth®機器使用上の注意事項

重要! 本製品に搭載されているBluetoothをご使用になる前に必ずお読みください。

■ 本製品はBluetooth機器としてお使いください。

Bluetooth機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。Bluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ Bluetooth機能はお買い求めいただいた国での利用を前提としています。

本製品のBluetooth機能はお買い求めいただいた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お買い求めいただいた国の法律を遵守してください。お買い求めいただいた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ(画像)の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生する所では本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生する所では本製品を使用しないでください(環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

その他の情報

■ 使用周波数帯

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。最大出力は6.93mWとなります。

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 1. 構内無線局(免許を要する無線局)
 2. 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- ・本製品を分解、または改造すること
- ・本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 商標について

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士フィルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

■ 本機の無線方式について

2.4 FH 1

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備

FH: 変調方式は周波数ホッピング(FH-SS方式)

1: 想定干渉距離が10m以内

■: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。

ご購入店または富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。

それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

■ 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

*詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

■ 修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■ 修理ご依頼に際しての注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少異なりますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

その他の情報

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

● 本製品に関するお問い合わせ
富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口
0570-04-1640(ナビダイヤル)



● 修理に関するお問い合わせ
富士フィルム フィルムカメラ修理相談窓口
0570-06-6092(ナビダイヤル)



- ▶ 各窓口の受付時間・サービス内容は、予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。
- ▶ 富士フィルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

富士フィルムホームページ:<https://www.fujifilm.com/jp/ja>

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN